

平成21年5月25日

武庫川流域委員会  
委員長 松本 誠様

武庫川流域委員会  
委員 伊藤益義

阪神電鉄高架化に伴う減災対策について

5月20日付神戸新聞紙上に「県、阪神電鉄など 高架化事業の起工式を中止」とありました。インフルエンザ対策の一つと理解しますが、この高架化事業がここまで進捗していることがはじめて知りました。

この地区は洪水時には最重要の箇所でありますので、この事業に合わせて武庫川橋梁等の改修による減災対策が実施されるべきと思いますが、河川管理者としてこの事業にどう取り組まれるのかお伺いしたい。

県民感情から見ると、高架化事業で折角仮線を敷設して工事を進めるなら、橋梁架け替えも同時に進めるのが費用も時間も効率化できるのではないのでしょうか。

以上

平成 20 年 5 月 20 日 (水) 神戸新聞 朝刊

### 高架化事業の 起工式を中止

県、阪神電鉄など

県や阪神電鉄などは、新型インフルエンザの感染拡大に伴い、二十日に予定していた阪神甲子園―武庫川駅間(一・八七キロ)を高架化する連続立体交差事業の起工式を中止すると決めた。地元住民ら約百人が出席予定だった。工事は計画通り始める予定。阪神本線の連続立体交差事業は現在、魚崎―芦屋間でも工事が進んでいるが、今回の甲子園―武庫川駅間が最後となる。

(足立 聡)

平成 20 年 5 月 20 日 (水) 産経新聞 朝刊

### 阪神電鉄高架工事の起工式中止

6月ごろで、平成28年の完成を目指している。

阪神南泉民局は19日、西宮市の阪神本線甲子園駅―武庫川駅間の約2.9キロを立体化させる「阪神本線連続立体交差事業」の起工式を中止すると発表した。式は20日に開催され、地元や工事関係者ら約75人が出席する予定だった。

県が主体となり、西宮市と阪神電鉄の3者が施工する同事業は交通渋滞の解消が主な目的。対象路線付近では「開かずの踏切」状態で、朝のラッシュ時間帯に慢性的な交通渋滞が発生しており、長年、近隣住民が頭を痛めてきた。

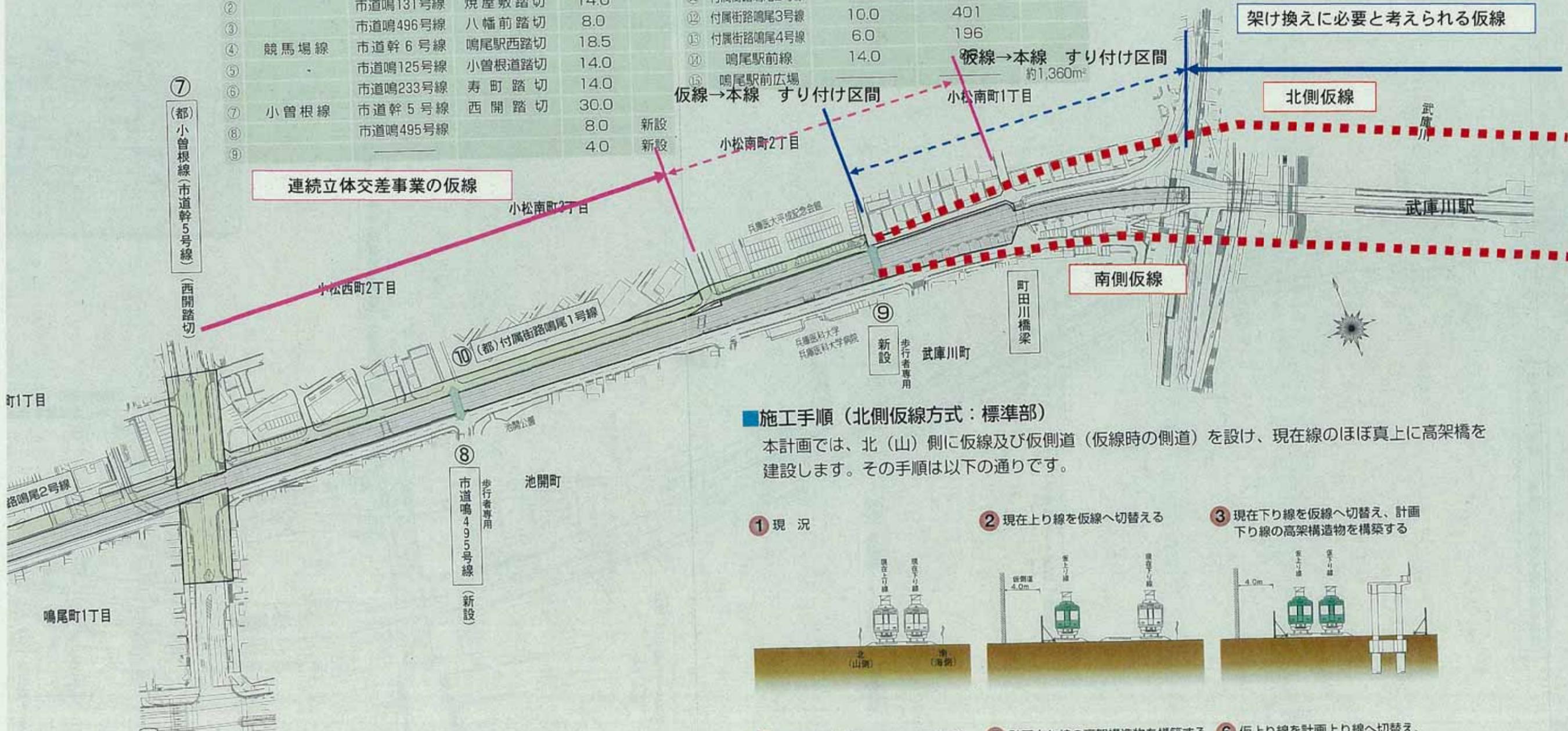
事業では6踏切の撤去などを予定。着工は予定通り

### 立体交差される道路

No	都市計画道路名	道路名	踏切名	計画幅員(m)	備考
①		市道鳴244号線		14.0	新設
②		市道鳴131号線	焼屋敷踏切	14.0	
③		市道鳴496号線	八幡前踏切	8.0	
④	競馬場線	市道幹6号線	鳴尾駅西踏切	18.5	
⑤		市道鳴125号線	小曾根道踏切	14.0	
⑥		市道鳴233号線	寿町踏切	14.0	
⑦	小曾根線	市道幹5号線	西開踏切	30.0	
⑧		市道鳴495号線		8.0	新設
⑨				4.0	新設

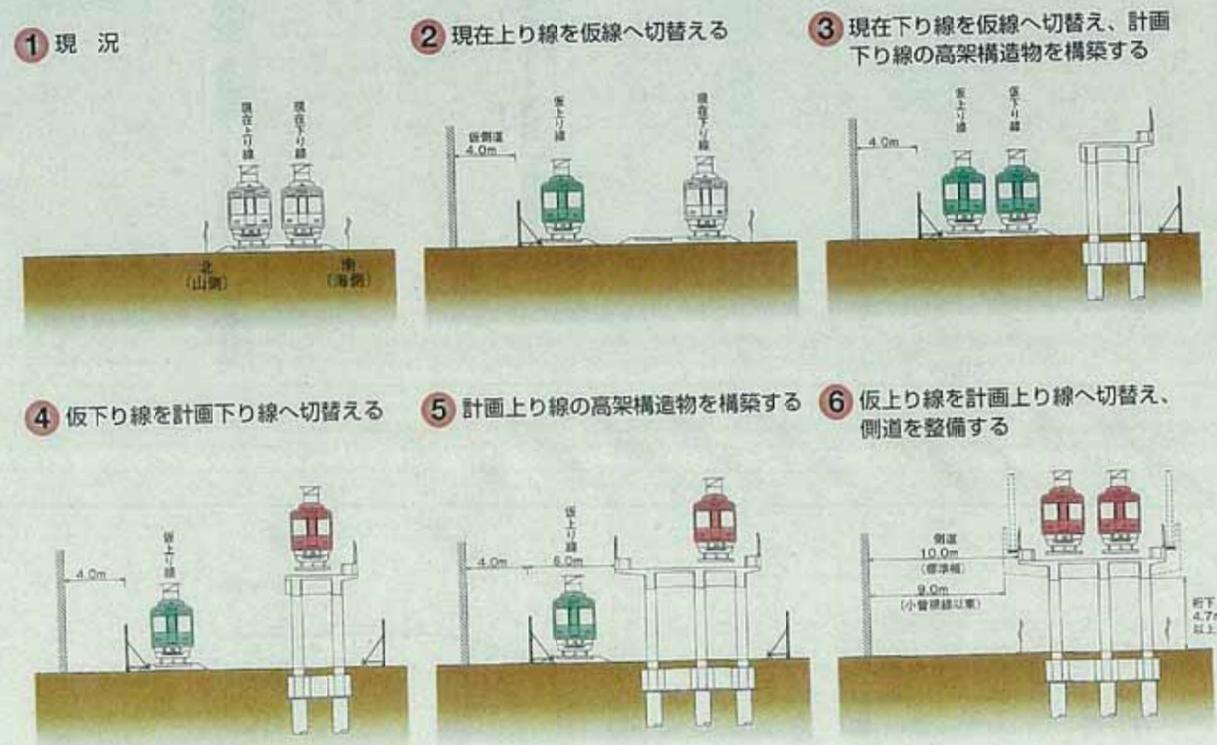
### 側道等の概要

No	都市計画道路名	計画幅員 (m)	施工延長 (m)	備考
⑩	付属街路鳴尾1号線	9.0	411	
⑪	付属街路鳴尾2号線	10.0	354	
⑫	付属街路鳴尾3号線	10.0	401	
⑬	付属街路鳴尾4号線	6.0	196	
⑭	鳴尾駅前線	14.0		
⑮	鳴尾駅前広場			



### 施工手順（北側仮線方式：標準部）

本計画では、北（山）側に仮線及び仮側道（仮線時の側道）を設け、現在線のほぼ真上に高架橋を建設します。その手順は以下の通りです。



～ 凡 例 ～

- 高架鉄道敷  
(都市高速鉄道の区域)
- 高架側道等  
(側道・駅前広場等の道路区域)
- 工事使用範囲  
(工事期間中の一時使用地)
- その他鉄道敷

※工事期間中、鉄道敷の南側にも作業ヤードが必要となるため、南側側道の幅員は現況よりも狭くなります。